



▼2月10日

かんざき塾で郷土の味を楽しむ



地域の伝統文化や郷土料理など、後世に伝え残したい地域の良さを、子どもたちと一緒に学習する「かんざき塾」の本年度最後の会が、神崎集会所で開かれました。この日は、ぎんこい市場店長の向井京子さんから高齢者の知恵の話聞いた後、生活改善グループの皆さんが前日から準備した醤油餅などの郷土料理を試食。塾生は、郷土の味を楽しみながら、この1年を振り返っていました。

▼1月19日

「命」を守る防災を考える



「青少年防災体験フォーラム」(県教育委員会主催、松前町教育委員会共催)が、松前総合文化センターで開催され、教職員、PTA、防災関係者など183人が参加しました。昨年7月に岡田小学校で行われた「親子防災キャンプ」の報告や、東日本大震災で被災した山田町立船越小学校の佐々木道雄前校長による講演などを通して、参加者は命を守る防災について、理解を深めていました。

▼2月21日

児童館の親子が消防署を見学



児童館の親子が、松前消防署を見学しました。参加したのは親子10組。はしご車、ポンプ車、救急車などを見て、子どもたちは大興奮。消防士になった気分で運転席に座り、楽しそうな表情を浮かべていました。

お母さんたちは、水消火器を使っての初期消火訓練に挑戦。親子そろって、充実した時間を過ごしました。

▼2月6日

善行生徒3人を表彰



奉仕活動に率先して参加するなど、進んで努力する生徒らを表彰する伊予ロータリークラブの「善行生徒表彰」は、伊予商工会議所で行われ、クラブ管内の7中学校の生徒計10人に表彰状が贈られました。

本町からは、山本佳希さん(岡田中2年、写真中央)、松邨美咲さん(同、左)、重松佳甫さん(北伊予中2年、右)、が表彰されました。